

# 災害過程の科学的解明による 持続的なレジリエンス向上方策に関する研究

社会防災研究領域 災害過程研究部門 李泰榮、塩崎由人、大塚理加、今泉賢吾、Bethany Meidinger、幸田悦子、永松伸吾

## Point

- 被災地データを蓄積・整備し、科学的根拠に基づくレジリエンス評価指標の構築と検証。
- コミュニティの防災対策実態を調査し、レジリエンス向上策の具体化。
- コミュニティの効果的な防災対策の実践を支援する人材育成手法の構築。
- レジリエンス向上策の実践に活用できる情報プロダクト開発。

## 概要

災害とは単に人命や財産が失われることに留まらず、その本質は「日常性の崩壊」といわれます。災害への備えとは、建物やインフラを強固にすることだけで達成されるわけではなく、私たちの社会の制度や仕組み、組織や個人の能力、あるいは文化として、災害から速やかに立ち上がる力を備える必要があります。私たちは、災害発生によって社会にどのような被害が発生し、どのような回復過程を辿るかを、防災実務や災害現場との協働を通じ、科学的に明らかにします。そして、その理解に基づいた効果的な防災対策・防災教育・防災政策の提案を目指します。

